



明日を支配する者(1999年87歳) (ビジネスの前提が変わり現実が変わった)

5月①のごあいさつ
山内公認会計士事務所
2024年5月1日(水)

いかに生きるべきか、いかに第二の人生を用意すべきか。
変化はコントロールできない。できることはその先頭に立つことだけである。
あらゆるものが変わる、マネジメントの常識、経営戦略の前提。
大切なのは、人と人との絆である。ドラッカーは絆を大切に**日本の組織**
が世界のモデルになることを期待する。

マネジメントの常識が陳腐化し、変わる。常に検討が必要である。

第一の間違い—マネジメントとは企業のためのものである

第二の間違い—組織には唯一の正しい構造がある

第三の間違い—人のマネジメントには唯一の正しい方法がある

第四の間違い—技術と市場とニーズはセットである

第五の間違い—マネジメントの範囲は法的に規定される

第六の間違い—マネジメントの対象は国境で制約される

第七の間違い—マネジメントの世界は組織の内部にある

経営戦略の前提が変わる。

事業の定義を現実の成果に結びつけるものが**経営戦略**である。ところが今や、
経営陣とくにこれまで順調だった大会社の経営陣にとっては、**何を行うべきか**
が問題である。

つい昨日まで順風満帆だった大会社が、突然、**問題と危機に直面し、低迷し、
挫折する。**

原因は、単に実を結び得ないことを行っているにすぎない。その原因は何か。
それは、組織の設立とその後の経営の基礎とした**前提が現実合わなくなった**
ためである。経営の前提が時代遅れとなったためである。

経営の前提とは、**第一に環境としての市場、顧客や競争相手の価値観と行動**
である。**第二に、使命、目的**である。**第三が自らの強味と弱味**である。

情報が仕事を変える。

情報の意味が変わる。技術、機械、手法、ソフトウェア、あるいはスピード
を争う革命ではない。**情報のコンセプト**にかかわる革命である。それは経営情報
システムによるものではない。**会計の主導**によるものである。

技術(T)から情報(I)へ、ITのIに**焦点を合わせたもの**となる。

トップ経営陣の仕事ではない、**一新するのは現場の仕事**である。